

World Robot Summit 2020 福島大会開催

新型コロナウイルスの感染拡大により、開催が延期になっていた、経済産業省および新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催するWorld Robot Summit 2020(以下、WRS)が、いよいよ開催されます。

「Robotics for Happiness」、人とロボットが共生し、協働する社会を実現する、その未来の姿を見せる場がWRSです。世界に類を見ないロボットの拠点、福島ロボットテストフィールドは、WRSのテーマを世界に発信するまたとない施設でもあることから、本市を会場にインフラ・災害対応で活躍するロボットの競技大会が開催されます。大会の様子は、現地又は公式ホームページからインターネット中継でも見ることができます。

と き 10月8日(金)～10日(日)

ところ 福島ロボットテストフィールド

見学申込方法 WRS ホームページ(ご来場には事前登録が必要です)

問合せ 商工労政課 ☎ 5 3 3 5



南相馬市長
門馬 和夫

「Robotics for happiness」の大会テーマが示すように、ロボット技術は人々の生活を豊かにし、幸福に出会う可能性の一つだと思います。また、市を含む浜通り、福島県の復興・発展の希望の光だと思います。初めてロボットの国際大会が本市で開催されることは大変光栄です。市としても大会の成功に向けて協力していきます。



市経済部
企業支援担当理事
土井 義人

市はロボット振興ビジョンを掲げ、ロボット産業の取り組みを進めています。WRSは国が主催する国際大会です。多くの市民にWRSをご覧いただき「MISORA」を応援してもらいたいと思います。



WRSの開催期間中、福島県主催の「ろぼいち(ROBOICHI)」が開催されます。市内企業を含むロボット関連展示やVRアーティストのせきぐちあいみ氏によるVR体験会、相馬野馬追の騎馬武者行列のステージなど各種コンテンツが予定されており、WRSを盛り上げます。

ご来場には事前登録が必要です(WRSと申込フォームは共通)。9月13日(月)(予定)より、公式ホームページにて申込受付を開始します。



南相馬市商工労政課 公式SNS

ロボ in 南相馬



Facebook



Twitter





南相馬ロボット産業協議会
会長 **五十嵐 伸一**

南相馬ロボット産業協議会は96社が加盟している「ものづくり」の団体です。WRS大会では、将来を担う子供たちや若い技術者に、会場で直接観戦してもらい、ものづくりの楽しさ、ワクワク感を伝えたいと思います。



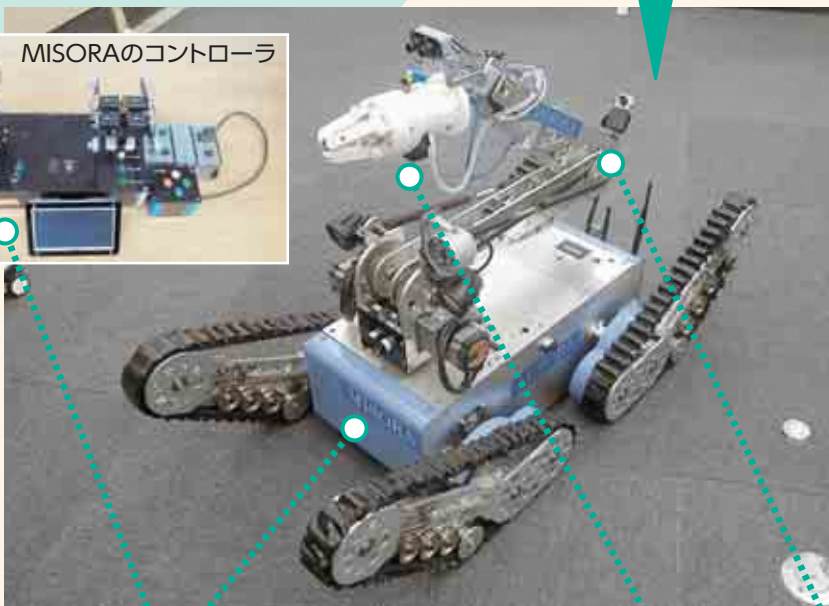
南相馬ロボット産業協議会
ロボット開発研究会
代表 **鈴木 力**

ロボット開発研究会は機械部品加工や電気、ソフトなどを手掛ける企業14社で構成されています。WRSの大会出場を契機に優れた技術を持つ南相馬の企業を多くの人に知っていただきたいです。

クローラロボット「MISORA」



MISORAのコントローラ



クローラロボット「MISORA」は、南相馬ロボット産業協議会参画企業の協力により、設計から製造までの工程を全て市内で行い完成させた災害対応ロボットのコンセプトモデルです。

現在、階段の昇降やバルブ操作、狭所通行などのWRS 2020の競技種目クリアと上位入賞を目指し、完成度向上に鋭意努力している所です。《開発企業》YUBITOMA、タケルソフトウェア、(株)菊池製作所、(株)タカワ精密、(株)シンコー、(株)相馬製作所、工製作所(株)、花沢技工、ハヤシ精機、(株)栄製作所、(有)ワインディング福島 (順不同)



タケルソフトウェア
山崎 潤一

コントローラと本体の制御設計・製造・プログラムを担当しました。他の出場ロボには無い、本体の動きと同じ動作をするように連動させた直感的なコントローラで大会に挑みます。



(株)タカワ精密
渡邊 光貴

コンパクトに収納されているアームの特徴は、高所作業にも対応できるように最大で約1mにもなります。アームの長さや強度のバランスに大変苦労しました。



(株)菊池製作所
高橋 敏志

MISORAのハンド部分を担当しました。色々な競技種目に対応するため交換可能なハンドを目指し、自社の3Dプリンタを使い、目的に合わせたハンド部分の設計開発製作を行いました。

